

沖縄鉄軌道構想段階PI おきなわ鉄軌道ニュース

2015年

特別号
沖縄県企画部

おきなわ鉄軌道ニュースは、鉄軌道を含む新たな公共交通システム（以後、「鉄軌道」という）の計画案づくりの検討状況をお伝えするため、県民の皆さんに配布しています。本特別号は、各市町村役場をはじめとする公共施設等で配布しています。

沖縄県は鉄軌道の計画案づくりを進めています

沖縄県では、県土の均衡ある発展、県民及び観光客の移動利便性の向上、中南部都市圏の交通渋滞緩和、世界水準の観光リゾート地の形成、駐留軍用地跡地の活性化などを図る観点から、那覇～名護を1時間で結ぶ鉄軌道の導入に向け、計画案づくりを進めています。

沖縄県は、基幹的公共交通システムである鉄道を有していない唯一の県となっていますが、戦前は鉄道が存在し、約100年前の1914年（大正3年）12月1日に「沖縄県軽便鉄道」として開業していました。

この軽便鉄道を県民の皆様に知って頂けることは、計画案づくりに関心を持っていただける大きなきっかけになるものと考えています。

沖縄県軽便鉄道 関係年表



開業時に使用されていた蒸気機関車
所蔵:那覇市歴史博物館

大正2年

1月 通常県会にて那覇～与那原間・国場～糸満間の鉄道敷設案が可決される

大正3年

12月 那覇桟橋方より工事着手

大正10年

3月 昭和天皇が東宮殿下（皇太子）として軽便鉄道で那覇・首里へ行啓された

大正11年

3月 嘉手納線（那覇～嘉手納間）営業開始

大正12年

7月 糸満線（那覇～糸満間）営業開始



南部（糸満）／沖縄県軽便鉄道糸満線糸満駅 駅長と駅員
所蔵:那覇市歴史博物館



那覇（交通）／沖縄県軽便鉄道那覇駅 所蔵:那覇市歴史博物館

昭和6年

与那原駅舎改築
(木造駅舎から鉄筋コンクリート造りのモダンな駅舎に改築)



沖縄県軽便鉄道与那原線 モダン与那原駅
所蔵:那覇市歴史博物館



沖縄県軽便鉄道嘉手納線 嘉手納駅 所蔵:那覇市歴史博物館

昭和19年

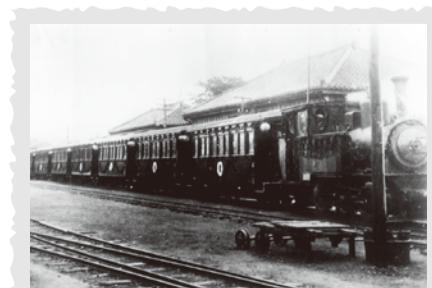
10月 那覇10・10空襲による那覇駅等焼失

昭和20年

軽便鉄道の
軌間（線路幅）は約76cm!

3月 最終運行

（嘉手納線3月23日頃、与那原線・糸満線3月28日頃）



20周年記念で飾りたてられた軽便鉄道
所蔵:うるま市石川歴史民俗資料館

軽便鉄道とは

今から約100年前、大正3年から昭和20年までの約31年間、軽便（けいびん）鉄道と呼ばれる鉄道があり、県民からは「ケイビン」「ケーピン」と呼ばれ親しまっていました。本土で走る通常の鉄道より、軌間（線路幅）が小さいのが特徴で、那覇～与那原間、那覇～嘉手納間、那覇～糸満間の3路線を運行しサトウキビの運搬や、通勤・通学などの交通手段として活躍していました。

沖縄
鉄軌道
計画案づくり

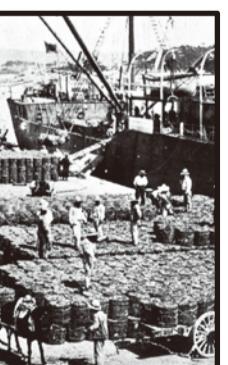
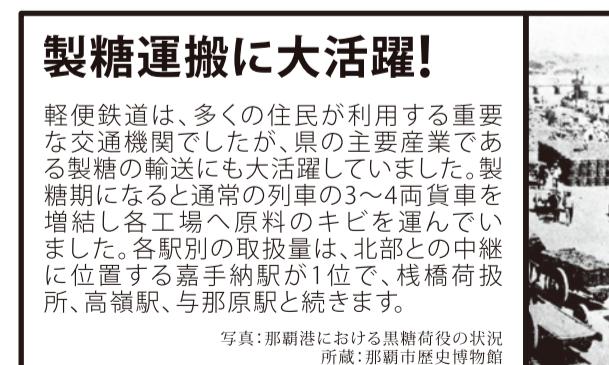


沖縄県軽便鉄道 路線図

1872年(明治5年)10月14日、日本で初めて東京(新橋)から横浜間で鉄道が開業しました。沖縄では、その42年後、1914年(大正3年)12月1日、那覇と与那原を結ぶ与那原線が開業しました。1922年(大正11年)3月28日には糸満線(那覇～糸満)が営業を開始しました。営業距離の全長は約51.7kmとなり、軽便鉄道としては、全国で3番目の距離を有していました。



嘉手納線 那覇駅 ⇄ 嘉手納駅 約23.6km



与那原駅舎 復元!

軽便鉄道開業から100周年を迎えた平成26年、与那原駅の駅舎が「軽便与那原駅舎展示資料館」として復元されました。当時の鉄筋コンクリート製の柱9本も一部保存されています。

写真:軽便与那原駅舎 展示資料館
住所:沖縄県島尻郡与那原町与那原3148



おきなわ鉄道ニュース特別号は、株式会社おきなわ文庫発行:金城功 著/『ケーピンの跡を歩く』、有限会社ボーダーインク発行:加田芳英 著/『図説沖縄の鉄道(改訂版)』、おきなわ散策はんじや会 編/『歩いてみよう!おきなわ軽便鉄道マップ』を参考に作成いたしました。

ご意見・ご質問・お問い合わせはこちらまで

沖縄県企画部交通政策課

〒900-8570 沖縄県 那覇市 泉崎1-2-2
TEL:098-866-2045 FAX:098-866-2448
メールアドレス info@oki-tetsukidou-pi.com
(沖縄鉄道構想段階PI)
ホームページ http://www.oki-tetsukidou-pi.com

